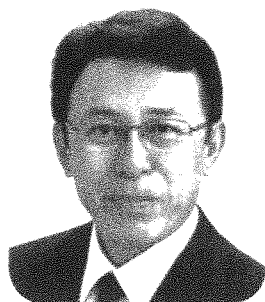


認知症を知る

日本全国で高齢化がすすんでいるように透析患者も高齢化がすすんでいます。

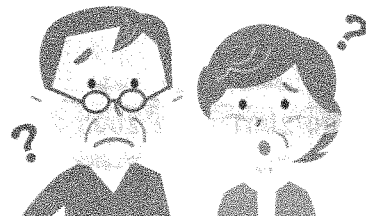
「認知症になるのでは？」「認知症なのでは？」
「認知症ってなに？」と“認知症”に対する不安はだれもが持っていると思います。
恐れる前にまずは“認知症”について教えてもらいましょう。



医療法人社団裕和会
長尾クリニック 院長
長尾 和宏 先生

●職歴

1984年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局
1991年 医学博士（大阪大学）授与 市立芦屋病院内科医長
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業



第17回 認知症と「大人の発達障害」

今、「大人の発達障害」が注目されています。書店に行くと関連書籍が沢山並んでいます。従来、認知症と発達障害は別物だと考えられてきました。しかし最近、認知症と「大人の発達障害」はかなり重なっていることが分かってきました。ちなみに「大人の発達障害」は「子供の発達障害」と一応別ものと考えてください。「大人の発達障害」は、成人するまでは「ヘンな奴」程度で大きな問題はありませんが、いざ会社に就職したり、結婚生活を送るようになるとかなりの支障が出てきます。「大人の発達障害」の多くはADHD（注意欠陥多動性障害）とアスペルガー症候群です。アスペルガーは人口の1%で、ADHDは、人口の5~10%とも言われますので、決して稀な病態ではありません。ただし「大人の発達障害」という概念が認知されたのは2000年以降とまだ歴史が浅いので、研究はまだまだ発展途上です。

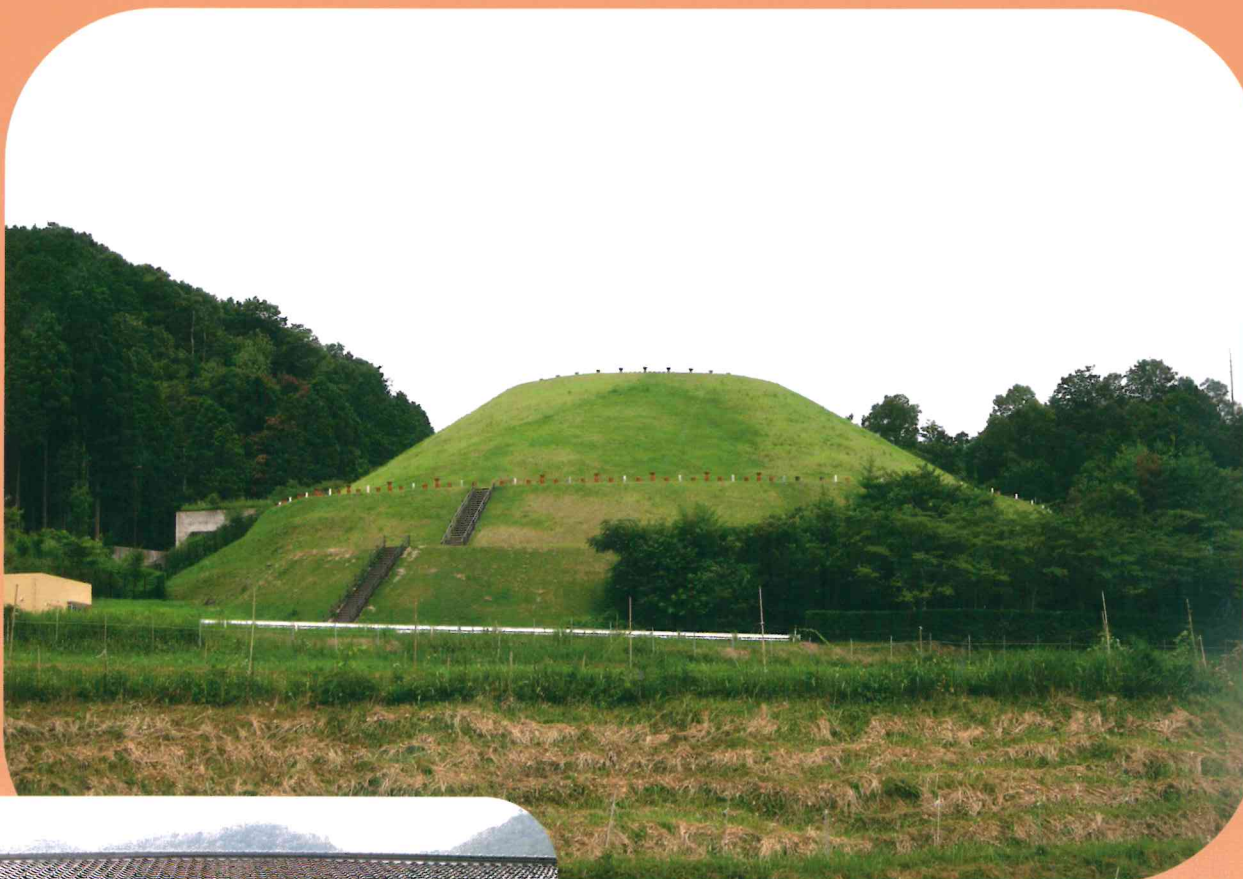
さて、「大人の発達障害」から来る認知症を見分けるにはどうすればいいのでしょうか。ADHDアンケート（注意スコアと多動スコア）、家族歴、成育歴、生活歴、学歴などの問診だけで簡単に分かります。とりあえずADHD=整理整頓ができず衝動買いする人、アスペルガー=空気が読めない（人の気持ちが分からない）高学歴の人、で覚えておくといいでしょう。両者とも遺伝的素因が強く、家族内集積することが特徴です。たくさんの認知症の人を診ていると家族の中に「大人の発達障害由来の認知症ないしその予備軍」が何人かおられるというケースに遭遇します。

興味深い知見としては、高知大学精神科でもの忘れを訴えた55歳以上の患者さんのうち、12%にADHDがいたと報告されています。またADHDはレビー小体型認知症になり易いことも分かっています。大人の発達障害に併存する認知症ではコンサータやストラテラなどのADHDの薬で認知機能が改善する場合があります。気になる方は認知症だけでなく大人の発達障害にも詳しい医師にご相談ください。

No.146
2019.10.20
Autumn

NPO法人兵庫県腎友会会報誌

まほう



茶すり山古墳



J R 播但線竹田駅

あさごし
朝来市



朝来市
マスコットキャラクター
「ちゃすりん」

特定非営利活動法人 兵庫県腎友会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (371) 4382 FAX.078 (371) 8840
ホームページ●<https://npohjk.or.jp/> E-mail●npohyojin@nifty.com

- 阪神ブロック事務局 〒663-8215 西宮市今津水波町1-7 ドミトリー高木1F TEL.0798 (36) 9731 FAX.0798 (36) 9732
- 神戸ブロック事務局 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (958) 7370 FAX.078 (371) 8840
- 東播ブロック事務局 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (958) 7323 FAX.078 (958) 7102
- 西播ブロック事務局 〒672-8048 姫路市飾磨区三宅1-192 田中興産ビル6F TEL.079 (285) 0577 FAX.079 (287) 6038